

日本・ラオス
国交70年心を癒す仏像の輝き、寺院建築の美しさ、
ラオスの仏教美術の魅力を一冊に。

ラオス 美術

伊東照司 著



※書影はイメージです

東南アジア唯一の内陸国、ラオス。国土の約80%が山岳・森林地帯で、メコン川が流れ、首都ビエンチャンや世界遺産の古都ルアンパバンは仏教文化が根付く美しい町並みで知られる。

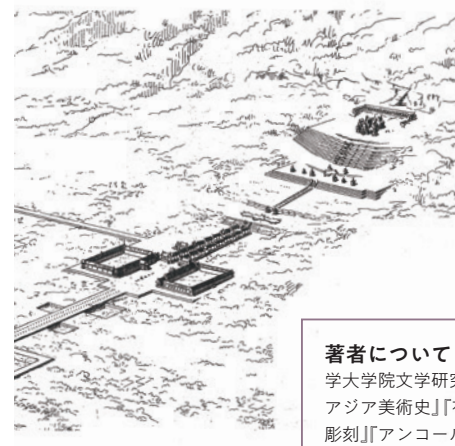
1968年に初めて遺跡調査を行って以来、幾度となくラオスを訪問し、独特の仏像や装飾彫刻に魅了された著者が、長年の研究・調査の集大成としてラオスの美術を日本に紹介する。

寺院や仏像・彫刻の特徴や文化的背景を、豊富な写真やイラストと合わせて解説する、東南アジア美術のピースを埋める貴重な美術書。



結論	第一章	第二章	第三章	第四章	第五章	第六章	結論
	ラオス仏教寺院	ラオスの仏像	ラオスの装飾美術	ラオス北部の名刹	ラオス中部の名刹	ラオス南部のクメール美術	

著者について 仏教美術史家。1944年東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科、博士課程修了。前東京外大講師など。『東南アジア美術史』『夜明けのスコタイ遺跡』『アンコールワットの彫刻』『アンコールワット』『ボロボドゥール』など著書多数。



B5判上製 口絵32(4色)+176(1色)頁 ISBN:978-4-634-67267-3 C0071 定価6,600円(本体6,000円+税10%)



山川出版社 TEL: 03-3293-8131

※ご注文は、右記まで
FAXをお願い致します

FAX: 03-3292-6469

新刊受注〆切
10/8(木)

ご注文冊数

冊

貴店番線印

(ご担当名:)

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。